

◎ 特別会計予算 ◎ (単位万円、%)

国民健康保険

(歳入)

区分	予算額	構成比	増減率
国民健康保険税	34,463	45.8	△ 0.7
国庫支出金	28,808	38.3	1.1
療養給付費交付金	2,330	3.1	21.6
県支出金	36	0.1	△39.5
共同事業交付金	823	1.1	217.5
財産収入	140	0.2	8.1
繰入金	911	1.2	皆増
繰越金	7,438	9.9	100.2
諸収入他	251	0.3	99.4
合計	75,200	100.0	8.4

(歳出)

区分	予算額	構成比	増減率
総務費	3,108	4.2	4.5
保険給付費	56,123	74.6	7.6
老人保健拠出金	14,636	19.5	11.9
共同事業拠出金	397	0.5	52.7
保健施設費	244	0.3	△ 3.6
諸支出金	62	0.1	
予備費	630	0.8	5.9
合計	75,200	100.0	8.4

老人保健

(歳入)

区分	予算額	構成比	増減率
支払基金交付金	33,092	69.3	7.9
国庫支出金	9,421	19.7	8.0
県支出金	2,358	4.9	8.2
繰入金他	2,903	6.1	10.8
合計	47,774	100.0	8.1

(歳出)

区分	予算額	構成比	増減率
総務費	88	0.2	皆増
医療諸費	47,680	99.8	7.9
予備費他	6		皆増
合計	47,774	100.0	8.1

食肉センター

(歳入)

区分	予算額	構成比	増減率
事業収入	17,568	84.8	
県支出金	252	1.2	13.4
財産収入	465	2.2	9.9
繰越金	2,340	11.3	△33.1
諸収入	95	0.5	2.6
合計	20,720	100.0	△ 5.0

(歳出)

区分	予算額	構成比	増減率
総務費	7,800	37.6	5.7
施設管理費	7,096	34.3	△16.0
公債費	1,304	6.3	△12.0
諸支出金	3,500	16.9	△12.5
予備費他	1,020	4.9	104.0
合計	20,720	100.0	△ 5.0

食肉センター特別会計

食肉センターは、と畜頭数の減少に加えて、旭の東総食肉センターが新年度早そうに新施設での業務を開始するという極めて厳しい状況下にあります。そこで、使用料(事業収入)については、消費税相当分のみを改定を行い、さらに施設の改善とサービスの向上に努め、他施設との競争に打ち勝っていかねばならないと思っています。

国民健康保険特別会計

六十三年度国保事業は、医療費が年度後半から増加傾向となつていますが、当初の見込ほどではないことから、前年度に近い財源繰越しができず、見込みで、新年度は、これ等の財源を全額充当し、一応の収支均衡を図ったところです。医療費の増加がこのまま続くとすれば、平成二年度には大幅な国民健康保険税率の引き上げが必至となることが予想されます。このため、今後六十三年度の決算や税収の見込みが明らかとなった時点で、中長期的展望にたつて、ゆるやかな税率の引き上げを年度途中で行わざるを得ないと考えています。